

こんな本があります

恵比寿を知る本

分類	資料名	編著者	出版者	出版年
S10	えびす附近実態調査 第1集		渋谷区立長谷戸小学校	1955
S10	えびす附近実態調査 第2集		渋谷区立長谷戸小学校	1957
S13	えびすの今昔 庚申橋の水車 原町の馬頭観世音菩薩の由来 加藤一郎氏遺稿	加藤一郎/著		1979
S13	SHIBUYAKU EBISU	よこちょう朝日編集部/編	横町新聞舗	2018
S13	代官山考察(猿楽雑記) 江戸近郊農家の百年	朝倉徳道/編著	朝倉徳道	2007
S14	重要文化財 旧朝倉家住宅	渋谷区/編	渋谷区	2021
S14	豊沢貝塚 1982	小林達雄/編	渋谷区教育委員会	1982
S14	恵比寿 旧サッポロビール恵比寿工場地区発掘調査報告書	恵比寿・三田埋蔵文化財調査団/編	恵比寿・三田埋蔵文化財調査会	1993
S46	サッポロビール 120年史	サッポロビール広報部社史編集部/編	サッポロビール	1996
S71	恵比寿	山口新三郎/編	恵比寿復興土地区画整理組合	1960
S71	同潤会のアパートメントとその時代	佐藤滋/[ほか]著	鹿島出版会	1998
S11	渋谷区観光ガイドマップ 代官山・恵比寿 100%		渋谷区区民部商工課	2012
S11	散策ガイド えびす		講座「渋谷の街を知る」第2班	1999
S11	えびす緑の散歩道	えびす自然を楽しむ会 緑の散歩道編集委員	えびす自然を楽しむ会	2001
S11	恵比寿カフェ (Grafis Mook)		グラフィス	2013
S17	東京府渋谷町〔昭和3年発行〕(大日本職業別明細図之内) 復刻版		渋谷区教育委員会	1991
S17	東京府渋谷町〔大正14年発行〕(大日本職業別明細図之内) 復刻版		渋谷区立渋谷図書館	1925
S12	渋谷町誌(複製)	有田肇/編	渋谷町誌発行所	1914
S12	渋谷風土記 旧史編	有田肇/編	東京町報社	1935
S13	郷土渋谷の百年百話	加藤一郎/著	渋谷郷土研究会	1967

しびや、あの日 あんなこと そして こんな本

— 渋谷区地域資料通信 10 —

2022年2月17日

編集/発行 渋谷区立中央図書館 (株)図書館流通センター

渋谷区神宮前1-4-1 3403-2591

図書館ホームページ>しびやのページ

https://www.lib.city.shibuya.tokyo.jp/?page_id=209

しびや あの日 あんなことそして こんな本

渋谷区地域資料通信 10

「住みたい街ランキング」では常に上位に位置する街、恵比寿。恵比寿という行政地名は古くからの字名からではなく、昭和3年(1928)に実施された渋谷町の字名地番改正に際し、昭和2年に整備された恵比寿駅に向かう道路の両側に、駅名に因み恵比寿通一・二丁目として採用されたものでした。恵比寿駅は明治18年(1885)に開業した品川・赤羽間の日本鉄道線に、日本麦酒醸造会社の「恵比寿ビール」の出された荷扱駅に始まり、5年後には旅客駅として開業しています。商品名から駅名、地名へと採用されたまれな例といえます。恵比寿駅のある旧広尾町周辺はこの地域に「渋谷橋」があるように「明治初年でも(中略)渋谷へ行くとと言えばこの下通り三丁目附近(現恵比寿一丁目・広尾一丁目)を指し、江戸でもただ渋谷と言えば普通この辺を言った。」*1といわれるほど江戸期から拓けた地域でした。

渋谷町の字名地番改正は大正14年(1925)に建議され、昭和3年に実施された事業で、当時の「渋谷町の人口が東京市に隣接する町村の中では1位であり、全国の都市101市中でも20位に相当する位置にあたるほどの規模にあって、犬牙錯綜する大字・小字の区域、また統一性を欠く地番による行政・通信の不便は速やかな改正を必要」*2としていたことによります。この事業により渋谷町の大字が整理され、昭和7年の渋谷区成立時にはそのまま新町名になりました。今日「旧町名」と呼ばれる町名はこの時のものです。その後、昭和38年から始まる住居表示の実施において、現在の恵比寿一〜四丁目、恵比寿西一・二丁目、恵比寿南一〜三丁目と増えるわけですが、実はその間の昭和35年に恵比寿地区では土地区画整理が行われ、短い期間でしたが「恵比寿東一・二丁目」という地名が存在し、消えていきました。

中の地図は昭和3年発行の渋谷町商工地図から恵比寿駅周辺の一部を抜粋したもので、字名地番改正後の町名が反映されています。



昭和7年頃恵比寿駅南口付近
『東京府渋谷町職員記念写真帖』より

*1『渋谷区史 全』 *2『渋谷町字名地番改正誌』より要約

土岐章邸洋館

土岐邸は寛保2年（1742）から沼田藩主となった土岐家の子孫土岐章子爵が大正13年（1924）に建てたドイツの郊外別荘風住宅で、「牛の目」と称される屋根窓が特徴です。現在は沼田市に移築され、平成9年（1997）に国の登録有形文化財（建造物）になっています。



旧土岐邸洋館（沼田市）

玉川電車天現寺線

大正9年（1920）に山手線の高架化により、玉川電気鉄道線が山手線の内側に延伸され、昭和13年（1938）に東京市に運行委託されるまで、天現寺線と中目黒線の2路線を運行していました。天現寺線は渋谷川に沿って南下し、中通り（現在の明治通り）上を走りながら大正13年には天現寺橋まで通じました。中目黒線は、天現寺線の渋谷橋から西進し、下通り（現在の駒沢通り）上を中目黒まで至っていました。

広尾小学校

大正5年（1916）に渋谷町立広尾尋常小学校としてこの地に設立されましたが、この昭和3年（1928）に火災により焼失しました。昭和7年に現在の場所に再建され、消防所（署）とその望楼を併設した校舎は、国の登録有形文化財（建造物）になっています。



広尾小学校望楼と消防所
『東京府渋谷町職員記念寫真帖』より

福昌寺（石棺仏）

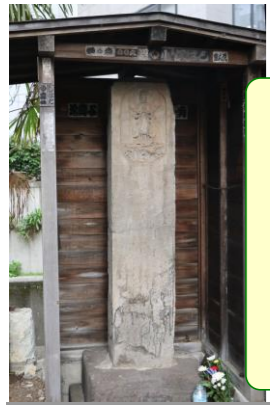
境内には古墳時代の石棺を転用し仏像を彫り込んで路傍に立て、庶民が礼拝の対象とした石棺仏があります。この石棺仏は古墳時代中後期頃の家型石棺の蓋を利用しており、中心部に表されるのは蓮台上に立つ阿彌陀如来像で、船形光背を負い来迎印を結ぶ姿が浮彫りされています。来歴は和歌山県那賀郡から運ばれて来たものと伝えられ、昭和25年頃に造園業者から当寺に寄進された東京ではここだけにしかないという珍しいものです。平成19年（2007）に区の指定有形文化財に指定されました。



福昌寺（石棺仏）

庚申橋（庚申橋供養碑）

この橋の供養碑は、寛政11年（1799）に建てられた数少ない珍しいものです。上部の青面金剛像のほか、四面すべてに関わった人の名が多数刻まれており、それらの人びとの地域をみると渋谷はもとより現在の新宿、港、目黒、中野、世田谷区といった広い範囲にわたっています。こうしたことからみると、庚申橋を通る道が江戸時代には重要な交通路であったことがわかります。



庚申橋（橋供養碑）

天津神社（恵比寿神社）

天津神社は大六天様とも呼ばれ、古くからある神社でしたが、昭和35年（1960）に恵比寿地区で実施された土地区画整理を期に新築し「えびす」の神と称せられる事代主神を勧請・合祀して、新町名にならない恵比寿神社と名を改めています。



恵比寿神社

同潤会代官山アパート

大正12年（1923）の関東大震災の復興事業として東京・横浜に建設された同潤会アパートの一つで、渋谷では代官山と表参道に造られ、長らく日本の集合住宅の傑作として親しまれました。この前年から入居が始まった代官山アパートは平成12年（2000）に代官山アドレスに生まれ変わりました。



旧朝倉家住宅

朝倉虎治郎邸

東京府議会議長や渋谷区議会議長を歴任した朝倉虎治郎が大正8年（1919）に建てた住宅で、震災以前に遡る数少ない大正期の和風住宅として、旧朝倉家住宅は平成16年（2004）に国の重要文化財に指定されています。主屋、土蔵が重要文化財で、一体となる庭園は崖線という地形を取り入れた回遊式庭園となっています。

福澤桃介邸

福澤桃介は明治から昭和初期にかけて活動した実業家で、慶應義塾卒業後に福澤諭吉の婿養子となり福澤家に入りました。実業界では主に電気事業に関係し、多数の電力会社を経営したことから「電気王」「電力王」と呼ばれました。

ビール坂

日本麦酒がビールを東京市中へ運ぶため、門前から渋谷村大通り（現在の明治通り）まで開いた道がビール坂と呼ばれるようになりました。渋谷川をまたぐ恵比寿橋は明治34年（1901）に架けられ、土地の古者は恵比寿橋をビール橋とも呼んでいます。明治末の文人大町桂月は、『東京遊行記』に「恵比寿橋をわたれば両行の桜、人を導き、路、爪先あがりになりて恵比寿ビール製造所にいたる。」と書いています。



昭和30年頃の日本麦酒工場
サッポロホールディングス提供

大日本麦酒

明治中頃から日本麦酒の敷地が渋谷村にまで拡張されました。明治39年（1906）に「恵比寿ビール」を製造した日本麦酒と札幌麦酒・大阪麦酒が合同して誕生したのが大日本麦酒です。その後もサッポロビールまで名前が変わるなか約90年間存続しました。現在は恵比寿ガーデンプレイスとして賑わっています。恵比寿の地名の起りはこの商品名が駅名になっていたことから、昭和3年（1928）に「恵比寿通」として採用されたものです。

渋谷町商工地図（昭和3年）

「商工地図」とは戦前の都市案内地図で、商店や会社をはじめ公共施設、病院、寺社、名家などが記載され、網羅的ではありませんが、現在の住宅地図に近いものです。この地図は字名地番改正後の昭和3年（1928）に東京交通社から出版された『大日本職業別明細之内 渋谷町』を昭和54年に渋谷区教育委員会が覆刻した地図より恵比寿駅周辺を抜粋して使用しています。

所蔵：S17『東京府渋谷町（昭和3年発行）（大日本職業別明細図之内）復刻版』

